

租税教育実践レポート

(テーマ) 身近な事例から自分の生活と税との関わりについて考える

登米市立佐沼中学校教諭 3学年 田口 直彦
実施年月日：令和2年1月31日 144名

1 実践計画・指導のねらい

本単元「政府の役割と国民の福祉」は、中学校学習指導要領社会科の公的的分野の内容(2)イにあたり、国民生活と福祉の向上を図るために国や地方公共団体が果たしている役割について考えさせることを通して、経済についての見方や考え方の基礎を養うことを主なねらいとしている。指導に当たっては、少子高齢社会など現代社会の特色を踏まえ、身近な事例を取り上げながら、税と自分の生活や将来との関わりに気付かせていく。税についての理解と関心を深め、納税者としての自覚を養っていきたい。

2 単元構成・実際の指導状況 (単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導)

時間	学習内容	主な発問 (○)、こどもたちの反応 (●)、使用教材等 (□)
事前学習	税の作文について 消費税について	○ <u>税について知っていることはありますか。</u> ● 学校とか道路に使われている。 ● 消費税を払っている。 □ 中学校社会科用学習資料「私たちの暮らしと税」 ○ <u>税はなぜ必要か考えてみましょう。</u> ● 少子高齢化が進んでいて、医療や福祉関係にお金が掛かる。 ● 公的サービスを支える会費のようなものなのでしっかりと納める必要がある。 □ 「もっと知りたい 税のこと」(財務省)
1	私たちの生活と財政 ・ 財政の仕組み ・ 様々な税金 ・ 税金の公平性	○ <u>政府はどこから収入を得て、どのようなことに支出しているのだろう。</u> ● 色々な種類の税金を集めている。公債金(借金)も多い。 ● 社会保障関係費など、人々の暮らしのために使われている。 ○ <u>軽減税率は何のためにあるのだろう。</u> ● みんな同じ税率になるので公正であるし、酒類や外食を除く食料品が対象なので、所得の低い人にとっては良い。 ● 軽減した分、税収が減ることになるので効率的ではない。
2	政府の役割と財政の課題 ・ 市場経済と政府 ・ 財政政策 ・ 公債の発行 ・ これからの財政	○ <u>A・Bの意見の良い点と問題点を挙げ、公債の発行はどうあるべきか、考えよう。</u> A：公債の発行をやめ、大幅な増税を行って、税収だけで歳入をまかなうべき B：公債の発行をやめ、歳出を大幅に減らし、社会資本や公共サービスはすべて民間に任せよう ● 増税は、所得が低い人ほど生活のやりくりが苦しくなる。民間に任せるとサービスがすべて有料になり、やはり生活が大変になる。 ● 減らせる歳出はないか考え、税を有効に使うことが大切だと思う。 □ 「もっと知りたい 税のこと」(財務省)
3	社会保障の仕組み ・ 社会保障の4つの柱 ・ 社会保障を支える人々	○ <u>将来、働けなくなったらどうやって生活するか。</u> ● 社会保険料を支払って、医療費や年金がもらえる仕組みになっている。 ● 介護などの仕事に関わる人によって支えられている。
4	少子高齢化と財政 ・ 社会保険の現在 ・ 福祉社会の実現に向けて	○ <u>今後の私たちの社会保障はどうあるべきか。</u> ● 高齢者が増えることを考えて、ヨーロッパのように高福祉高負担が良い。 ● 若者の負担を考えると、税は低負担で自己責任の部分があって良い。 □ 「ご案内します アナザーワールドへ」(DVD)

【指導のポイント】<事前学習>

夏休みの課題として「税の作文」に取り組みさせるために、資料をもとに解説した。また、1クラスのみ、単元に入る前に税務署の方を招いて消費税の説明をしていただいた。どちらも短時間ではあったが、税について考えるきっかけになった。

【指導のポイント】<1時間目>

単元の導入として税の学習への興味・関心を持たせるために生徒に身近な消費税を取り上げた。レシートをもとに軽減税率の対象となっているものに気付かせ、制度の良さと課題について効率と公正の視点から考えさせた。

【指導のポイント】<2時間目>

日本の財政状況について、税務署から頂いた資料を活用したことで、教科書よりも新しいデータを提示できた。最新のデータをもとに、ここ1～2年でも債務残高が増えていることを確認できた。また、債務残高を減らす方法について、資料をもとに話し合い、考えることができた。

【指導のポイント】<4時間目>

授業の前半でDVDを活用し、税の必要性や財政の課題を確認した上で、今後の日本の社会保障のあり方について、自分の考えをまとめさせた。DVDの内容は、教師が説明するより簡潔で分かりやすく、効率よく授業を進めることができた。

3 実践の成果 (◎) と課題 (◆) (租税教育を実施後、教諭自身の感想や児童・生徒の反応、他の教諭に対して、今後参考としてほしい事項など)

- ◎ 税に関するたくさんの資料の中から必要な部分を抜粋し、効果的に活用することができた。基本的には教科書や資料集を使って授業を進めてよいと思うが、パンフレットやDVD等の方が分かりやすいものもあるので、よりよい資料を探して活用したい。
- ◎ 税と自分たちの生活との関わりをどう認識させるか、そこが一番のポイントであった。できるだけ身近で具体的な事例を提示し、発問を工夫したことで、興味・関心が高まり、自分のこととして考えさせることができた。
- ◆ 講師の活用は、税への理解や疑問が深まる単元後半の方が効果的かもしれない。教師ではできないところがあれば、必要に応じて協力を依頼する。